

平成26年度 第4回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 平成26年8月8日（金） 午後1時30分～4時30分

【場 所】 豊田市役所 南庁舎5階 南53会議室

【出席者】 〈委員〉

加藤 勇夫 [愛知学院大学名誉教授]
河木 照雄 [豊田商工会議所副会頭]
浅井 良隆 [コンサルティングオフィス アット・ドリーム]
澤田 恵美子 [豊田市消費者グループ連絡会会長]
尾崎 眞 [愛知学院大学商学部商学科教授 博士]
服部 正雄 [トヨタ生活協同組合 特別顧問]
河原 郁子 [とよた下町おかみさん会 平成24年度会長]

【欠席者】 杉田 雅子 [株式会社 杉田組 ブルーベリー事業部取締役]

〈事務局〉

小栗 保宏 [豊田市産業部長]
寺澤 好之 [豊田市産業部副部長]
三浦 浩 [豊田市産業部商業観光課長]
長江 洋一 [豊田市商業観光課副主幹]
鈴木 啓介 [豊田市商業観光課係長]
山田 統裕 [豊田市産業部商業観光課主査]
水野 宏美 [豊田市産業部商業観光課主査]

〈傍聴者〉

なし

【次 第】

開 会

- 1 部長あいさつ
- 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 3 委員長あいさつ
- 4 審議事項

(1) 次期商業振興プランについて

(2) 空き店舗活用支援事業について

申請者：豊田まちづくり(株)

5 連絡事項

6 その他

7 閉 会

【会議録（要約）】

開会

1 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
事務局から説明しました。

2 委員長あいさつ
委員長が、あいさつをされました。

3 審議事項
(1) 次期商業振興プランについて
資料に基づいて事務局より説明

委員

小売年間販売額については、以前、服部さんからご指摘があったように、自動車販売割合が入っているので、それを抜いたらどうなりますか。また、商品とサービスについては、サービスは美容院、飲食サービスです。食品を売っているのは小売業で、食べ物を出しているところはサービス業です。言葉の内容を確認していただければと思います。

委員

データの見方をきちっとしておかないと、後の展開に影響します。商店数が減ったとか増えたとか言っているのは、商店街の加盟の数であって、今、コンビニは増えてきています。コンビニを、どう捉えるかによって、全部書き方が変わってきます。市域全体を見たときには、従来からある商店街の組織が疲弊してきているけれども、実はコンビニ進出に相まってということもあるかもしれません。だが、データで見てみないと分かりませんが、単に減ったとなると本当かなと思う人がいると思います。

委員

2「新・がんばる商店街応援プラン」に基づく商業施策の【課題】で、市街流出の抑止、商店街組織の意識改革と組織強化となっているが、【成果】を見ると、毎年減っています。どう見たら良いのでしょうか。成果としては出ていますが、市全体としての成果としては出たといっても良いのでしょうか。施策として、やらなかったら実際どうなっていたのでしょうか。市の立場となると、データの見せ方を工夫した方が良いのではないかと思います。

事務局

以前、委員から、他都市と比べてどうなのかという意見も頂いているので、その辺の分析もしていきます。

委員

率は比べられますが、小売年間販売額も下がって、会員数も下がっていれば、単体としては上がっていたりする可能性もあるのではないのでしょうか。

委員

岡崎の例として、商店街商業機能は大型店に比べて全滅しているが、その中で、商業者の松井さんは成功者の一人として評価されています。全体として評価は低いですが、個としては評価が高いです。どちらの部分をどう見ていくかです。全体で評価するのか、個で評価するのか、基準を決めて、豊田はこういう方針でやってきたというところを示していかないといけないと思います。

委員

先進技術とは、ネット販売の人がお金もらえるってことなののでしょうか。商店街でホームページを作るとか、カードを作るということだと思いますが、エコポイントの話もあります。また、端末を置くとなった場合、予算措置が出来るのかという話もあります。

事務局

支援策は検討しておかないといけないです。

委員

ホームページを作って欲しいという商業者さんは結構いると思います。ただ、ホームページを作れるなら継続して使える補助金でないと、ホームページを作成ただけで終わってしまいます。どういう内容なのか、具体的にしておかな

いといけないと思います。

事務局

ホームページを作るということよりも、フェイスブック等、日々自分で更新できるものでないといけないということですね。

委員

アウトプットのイメージが分かりません。繁盛店経営者育成事業については、育成塾を作ってやっていくのか、単にやる人にお金だけ出すということなのか。具体的な内容は何なのか、何をやろうとしているのか、書いてある言葉だけだと内容が分かりません。これまでの10年間頑張ってきて、それなりの効果を出してきました。そういう状況の中で、ますます商業環境は厳しくなっています。だから、より市民の期待から外れる方向にいくことのないように施策を打っていきます。そして、今回は3年で新しい芽を作るための施策をやっていくという流れだと思います。その中で具体的にこんなことをやっていきますよとなっているのに、重点プログラムになった途端、ただ補助金だけ出しているのかと捉えかねません。提言として出しても、受け取った市長は分からないと思います。何をやっていくかというのが見えるようにしないとけないと思います。

委員

市長が重点プログラムは何か答えるときに、胸をはって言えるようなものが必要であると思います。商業者が自助努力したら、補助金をあげるというのが理想です。行政の手厚い支援とうものが、阻んでいるかもしれないです。汗水流して意識させることが重要だと思います。

委員

8次総合計画にかけて準備も並行してやっていくことになるので、新たなものに対応しないとけないこともあると思います。

委員

事業名が出ると内容が分からないので、皆さんの思いがバラバラでストーリー性がないです。例えば、ICTは重要と言いながらも、重点プログラムには入っていないです。5から6へが、バラバラになっていてイメージが全く繋がっていません。5の①～③を具体化出来れば、6に結びつくと思います。5の整理をしないと6は出ないです。例えば、チャレンジショップは、全国的に失

敗しているのです、やられていないです。そこで、商工会議所は経営状況を出し、それを基に指導員がアドバイスをします。金融機関は、創業計画を作成する、というように具体的に落としていけると分かります。もっと細かく見ていったほうが良いと思います。リクエストがないものまでやる必要はないと思います。

(2) 空き店舗活用支援事業について

申請者の豊田まちづくり(株)担当者から説明。

委員

事業の採算性及び継続性、営業の終了時間、地域との連携を再考の上、事業を実施してください。

5 その他

西町小路商業活性化に向けた複合的商業施設整備事業の第2期豊田市中心市街地活性化基本計画への掲載について

事務局から事業内容について説明。各委員から挙げられた主な意見は次のとおり。

委員

豊田市駅前に夜の飲食業は必要とされているのですか。既に飲食業があるところにまた整備されることの意義が分かりません。豊田市のために必要な事業が不明確です。

委員

事業が予定されている地域の西町商店街では、市の助成を受けられるよう飲食業を開く際の推薦を数年前に打診されたことがあります。しかし、これ以上、西町商店街エリアには飲食店はいらないという話があり、理事会で却下されています。豊田市駅前広場全体を飲食店エリアにしていくという計画もないのにこの事業が国の助成を受けられるよう豊田市の中活計画を変更するのか疑問があります。

委員

事業予定のビル内には20年間、飲食店とカラオケしか出店しない保証はある

のですか。風営法に抵触する業態が出店することが心配されます。豊田市駅前の北地区再開発に合わせて、駅前広場が整備される予定があるので、せつかくならば昼間に人が来てもらえるような商売をやってもらいたいです。もしくは、大衆向けから高級なものまで味わうことができる飲食ゾーンの再開発の1つとした事業が望ましいです。

委員から出た意見を踏まえ、依頼のあった事業予定者に対して、豊田市の意見を回答することとした。

6 連絡事項

次回の商業振興委員会の開催について

平成26年9月2日（火）13:30～